

CommvaultでNTTデータの柔軟で拡張性の高いデータ成長を支える

グローバルITサービス事業者がCommvault HyperScale™ Applianceでプライベートクラウドにある社内システムの拡張性を確保

NTT DATA

課題

- 法令改正などの外部要因による予想外のデータ量急増に対応するため拡張性を確保する
- 複数のデータセンターにサーバー、OS、アプリケーション、ログがある高度な大規模バックアップ環境において、障害発生時の原因特定と復旧にかかる時間を短縮する
- 異なるセキュリティレベルが求められるプライベートクラウド環境に一元的に対応できる新しいバックアップ環境を構築

ソリューション

- 複数のデータセンターの統合データ保護プラットフォームとしてCommvault HyperScale Appliance 6台を導入
- Commvaultの販売パートナーであるNTTデータ先端技術株式会社がNTTデータのPOCをサポート

結果

- 運用方法を変えずに、プライベートクラウドで懸念されるデータ増加の問題を解決できる優れた拡張性を実現
- Commvault HyperScale Applianceのシンプルなサブスクリプションライセンスの利用で、データ量が増えても効率的なコストコントロールが可能に
- データ管理にかかるIT部門の作業負担を大幅に軽減。バックアップ障害の際のトラブルシューティングに掛かる時間も短縮
- 直観的なダッシュボードや管理コンソールにより、トレーニングに掛かる時間を短縮し、人為的エラーを最小限に抑える
- 社内および社外のユーザーが求めるさまざまなセキュリティレベルに対応することでプライベートクラウドのデータセキュリティを強化



「Commvault HyperScale Applianceのシンプルなライセンス体系によりプライベートクラウドのバックアップ費用の効率的なコントロールが可能になり、データ量増加にいつでも対応できるという安心感が得られました」

株式会社NTTデータ 技術革新統括本部 ITマネジメント室 システム開発担当 部長 水内 祥晃 氏

「Commvault HyperScale Applianceは拡張性とコストという両方の観点から最適な選択でした。予想外のデータ量増加が発生しても、その都度運用方法を変えずに確実に対応することができます」

株式会社NTTデータ 技術革新統括本部 ITマネジメント室 システム開発担当 課長代理 川戸 祐介 氏

業界

テクノロジー

所在地

東京都江東区

WEBサイト

www.nttdata.com/jp/ja/

お客様の概要

株式会社NTT データ

- 売上高2兆円を超える業界をリードするITサービス事業者、グローバルイノベーション パートナー
- 従業員数11万8000人以上、50以上の国で事業展開

主な保護対象システム

- 会計、ITインフラ、ミッションクリティカルなシステムを含む130以上の社内システム。80TBのデータ容量
 - 1300以上の仮想マシンのデータは、プライマリデータセンター内の2台のCommvault Hyperscale Applianceへバックアップ
 - ファイルシステムデータは、遠隔データセンターにある2台のCommvault Hyperscale Applianceへバックアップ
- もうひとつの運用システムは、プライマリデータセンターに設置した別の2台のCommvault Hyperscale Applianceにバックアップ

バックアップ環境

- Commvault Hyperscale Appliance 1300 × 6台

予想外のデータ成長に対応

NTTデータは世界をリードするITサービス事業者かつイノベーション パートナーです。お客様への長期的なコミットメントを重視する同社は、グローバルな事業ネットワークと地域に密着したサービスを組み合わせ、コンサルティング、システム開発からアウトソーシングまで最高レベルのプロフェッショナル サービスを提供しています。

同社のITマネジメント室 (ITM) は、社内ITシステムの開発、維持運用と社内ITシステム提供によってNTTデータ グループ全体の事業活動支援を行っています。ITMはNTTデータ先端技術株式会社と連携して新しいソリューションをまず社内システムとして導入し、利用してから、お客様に提供していく、ショーケース化という活動を行っています。このユニークなモデルは、会計、ITインフラ、ミッション クリティカルなシステムなど130以上のシステムを擁するプライベート クラウド プラットフォームのバックアップ環境更改に合わせて実施しました。

このプライベート クラウドのデータはすでに数十TBに達しており、法定保存期間の改正など外部要因による予想外のデータ量急増にも迅速に対応できるよう、拡張性と費用対効果に優れたバックアップ ソリューションを必要としていました。

「最近の法定保存期間の改定により一部データの保存期間は2年から3年へと延びました。既に計画済みの新規サービス開始に伴うデータ成長に加え、さらにこのような予想外のデータ量増加にも対処できるソリューションが求められていました。Commvault HyperScale Applianceは 拡張性とコストの両方の観点から最適な選択でした。その導入により、予想外のデータ急増にもその都度運用方法を変えることなく確実に対応できるようになりました」(川戸氏)

シンプルなライセンス体系で効果的なコスト管理を実現

NTTデータは、Commvault のパートナーであるNTTデータ先端技術株式会社の技術支援を受けて、2か所のデータセンターにあるバックアップ システムを Commvault HyperScale Appliance 1300 x 6台からなる新しいシステムにリプレイスしたことで、優れた拡張性と柔軟なサブスクリプション ライセンスが活用できるようになりました。

新システムの導入で、運用システムのデータのバックアップをシームレスに拡張することが可能となり、その都度新しいバックアップ環境を追加する必要がなくなりました。加えて、Commvault HyperScale Appliance は、重複排除前のデータ量またはバックアップ対象の仮想マシンの数ではなく、重複排除後のバックアップ データ量のみに対して課金するので、コストを削減し、ストレージの利用量を最小限に抑えることができました。

「ITマネジメント 室の主たる使命のひとつは、コスト管理と予想外のリスクに対処する計画の確立です。Commvault HyperScale Applianceのシンプルなライセンス体系によりプライベート クラウドのバックアップ費用の効率的なコントロールが可能になり、データ量増加にいつでも対応できるという安心感が得られました」(水内氏)

また、異なるセキュリティ レベルが求められる環境でも一元的に対応できる新しいバックアップ環境を提供できるCommvault Hyperscale Applianceの導入で、同社が運用するプライベート クラウドのデータ セキュリティを一層強化できました。遠隔バックアップの際に信頼できるデータ暗号化技術や、マルチアカウント アクセス管理などの機能によりセキュリティ性がさらに向上しています。

バックアップ運用の作業負荷を大幅軽減

NTTデータはこれまでの5年間、2か所のデータセンターにあるサーバーとストレージのバックアップにCommvaultソフトウェアを利用してきました。しかし、バックアップ環境を2 Tierで構成していたため、OS、コンピュート、ストレージ、バックアップ ソフトウェアを取得、インストール、管理、サポートする必要があり、遠隔地で障害が発生した場合、その原因特定と復旧に時間が掛かりました。

「Commvault HyperScale Appliance を導入したことで、一元的なデータ保護プラットフォームを確立したのみならず、障害発生時に個々のサーバー、OS、およびアプリケーションを切り分けする負荷からも解放されました」(川戸氏)

さらに、Commvault HyperScale Appliance はほとんどのIT 運用プロセスを変更することなく利用できる上、直観的なダッシュボードをはじめ使いやすいインターフェースを備えているので、同社のような大企業によくある人員配置の変更に際してもトレーニング時間を短縮し人為的エラーを最小限に抑えることができます。

製品の詳細はこちら: www.commvault.co.jp/products/commvault/complete-backup